

令和元年度京都府総合教育会議

令和2年2月26日(水)13:30～14:30

京都産業大学むすびわざ館3階 教育委員室

次 第

1 開 会

2 キャリア教育の状況について概要説明

特徴的な教育内容等について

3 意見交換

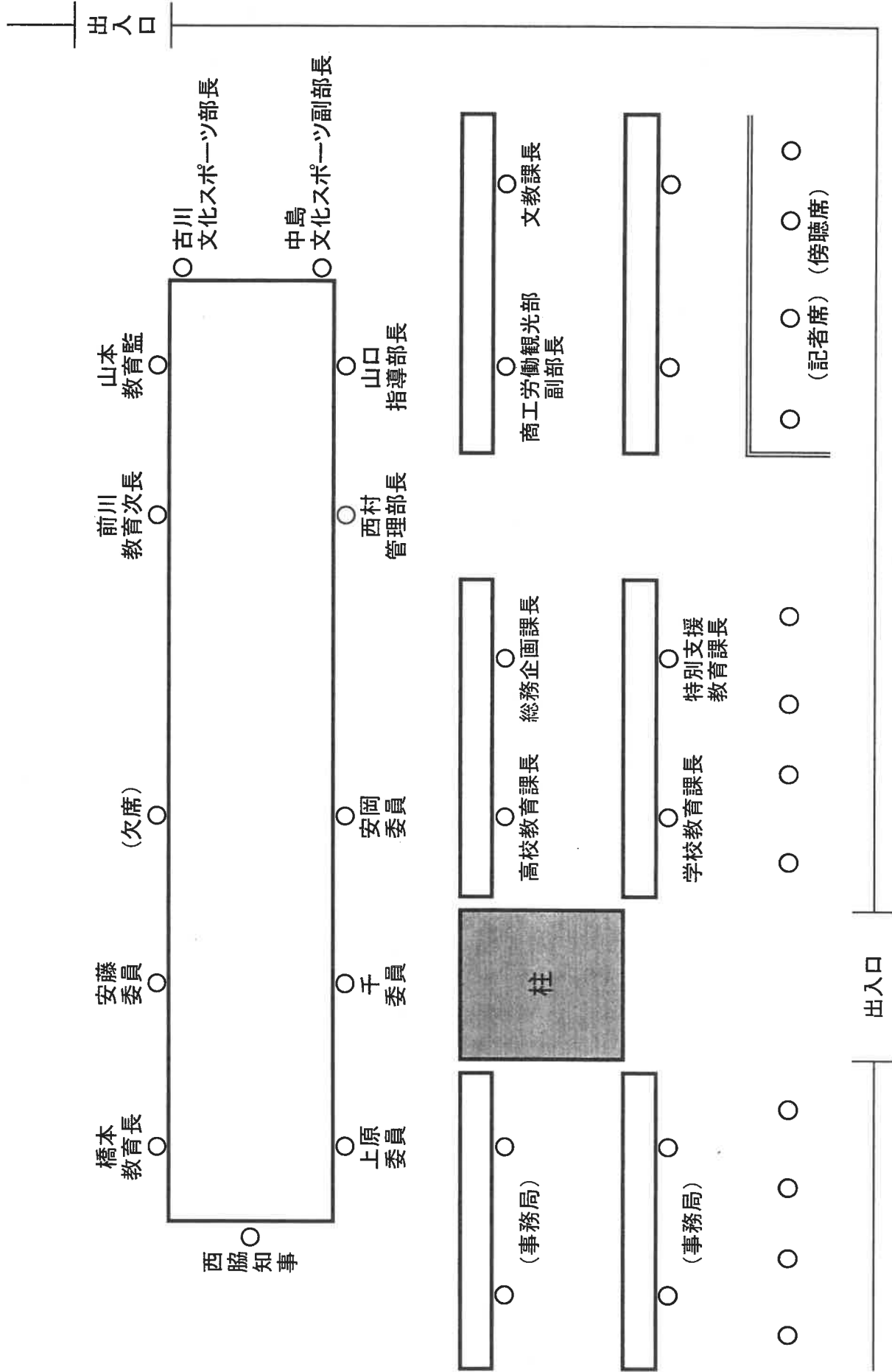
キャリア教育のあり方について 意見交換

4 その他

5 閉 会

令和元年度京都市総合教育会議配席図 <京都市産業大学むすびわざ館3階 教育委員室>

※会議中締切



職業教育・キャリア教育の推進について

教育委員会

1 職業系専門学科の状況

※令和元年度に生徒が在籍する学科

農業	北桑田、桂、木津、農芸、須知、綾部（東分校）、福知山（三和分校）								
工業	田辺、工業、宮津、峰山								
商業	京都すばる、木津、網野、桃山（定時制）								
水産	海洋	家庭	福知山（三和分校）、峰山（弥栄分校）				情報	京都すばる	
福祉	京都八幡（南）								

◆特色ある取組◆

■高校生カンパニーの開設（模擬株式会社による経営活動学習）

別添資料1

■学科連携による青空市場の運営

別添資料2

■グローバルGAP認証取得による農場経営の改善

別添資料3

■オリジナル商品の開発

- ・海洋ブランド、海と山をつなぐ10次産業化
- ・「京の工」ブランドの管理運営、製品販売ルートの開拓

■大学や企業との連携などによる未来のスペシャリスト育成

- ・複数の大学と連携し、環境に配慮した農業を实践
- ・各企業等で活躍する卒業生による技術指導

2 進路実績

	農業	工業	商業	水産	家庭	情報	福祉	普通科
就職	45.3	57.5	34.3	36.7	58.1	22.7	63.2	7.7
進学	51.2	41.4	65.8	62.0	32.3	76.0	36.8	89.0
その他	3.4	0.8	1.9	1.3	9.7	1.3	0.0	3.3

- ◆福祉、工業は学科と関連した就職が比較的多く、就職者のうち6割～8割程度を占める。
- ◆農業では学科と関連した就職はかなり少なく、就職者のうち1割未満程度。
- ◆商業、情報は比較的進学が多く、大学卒業後に学科と関連した就職をする場合が考えられる。

3 学校新設・学科改編

○学校新設…丹後の未来を担う人材を育成し、地域社会の活性化に貢献する学びを实践

学校名	学舎名	学科等
宮津天橋	宮津学舎	普通科、建築科
	加悦谷学舎	普通科
丹後緑風	網野学舎	普通科、企画経営科
	久美浜学舎	アグリサイエンス科、みらいクリエイト科

清新	昼間定時制、単位制、総合学科	普通系列、農業・園芸系列、服飾・調理系列（仮）
----	----------------	-------------------------

○学科改編…新しい時代に対応した教育の推進と専門教育の一層の充実

学校名	現行	変更後
北桑田	普通科、森林リサーチ科	普通科、京都フォレスト科
農芸	農産バイオ科、環境緑地科	環境創造科、園芸技術科、農業生産科
大江	普通科、ビジネス科学科	地域創生科 別添資料4 ※文科省事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」においてアソシエイト校に指定（R元～）

4 キャリア教育の推進

○高等学校（普通科含む）

■わたしの未来づくり支援事業

主体的な進路選択や労働法規など働く上で必要な社会的知識の習得を支援し、早期離職の防止・安定的な雇用を実現（全校で実施）

- ・民間企業の社員や起業家などによるグループワーク・講演会
→堀場製作所・日東精工など、地元企業や上場企業との連携
- ・労働者として働く上で必要な法令上の権利や現代の労働問題等の学習
→法務局や京都弁護士会から外部人材を招き、専門的な講義を実施
- ・インターンシップや職場訪問等、生徒が実際に企業の現場や仕事を体験

	H28	H29	H30
実施校数	39校/47校	35校/47校	40校/47校

○小・中学校

■KYO発見仕事・文化体験活動推進事業

原則として小学校4年、中学校2年を対象とし、小学校では仕事探求や職業に関わる体験活動、中学校では職場体験活動などを実施

	H27	H28	H29	H30
職場体験学習実施校数（中学校）	94校/96校	96校/97校	95校/96校	95校/96校

※うち、「KYO発見仕事・文化体験活動」を活用して職場体験学習を行っている中学校は82校（平成30年度）

■未来の担い手育成プログラム研究校（中学校対象）

別添資料5

京都を中心に活躍している5つの企業・大学（※）と連携して、子どもたちが社会に出たときに直面するような「正解のない問い」に、グループで協働しながら長期的・継続的に取り組む。※株式会社丹後王国、グンゼ株式会社、株式会社美濃吉、京都大学 iPS細胞研究所、株式会社祇園辻利

- ・府内の中学校5校を研究校に指定
- ・成果を発表する「きょうと明日へのチャレンジコンテスト」（3月7日）には研究校5校を含めて中学校8校がエントリー

○特別支援学校

■京しごと技能検定

清掃・接客・パソコン実務・介護の4分野の職種別専門的スキルを客観的に評価するシステムを構築し、地域の雇用ニーズに対応したキャリア教育を推進

	H29	H30
受検者数	280名	351名

■ふれあい・心のステーション

府民との交流や企業の理解促進を図るため、大丸京都店において開催。全府立特別支援学校が参加し、生徒自らが製作品（窯業・木工・縫製・農産品等）の販売実習・実演を実施

	H28	H29	H30
来場者	約5,000名	約7,000名	約4,000名
販売店数	5,361点	約7,000点	約7,000点
売上	2,045,810円	2,210,650円	1,822,860円

■ジョブパークとの連携

はあとふるコーナーの就労支援員との連携により、就労希望生徒を支援

- ・企業実習先の紹介
- ・生徒、教員、保護者を対象とした職業意識、就労基本マナー、面接対策等のセミナーの実施
- ・企業担当者の学校見学

第33回

販売学習

京都すばるデパート

開催日：2019年11月16日（土）、17日（日）

16日：開店式 午前9時～午前9時30分
営業時間 午前9時30分開店～午後3時閉店

17日：営業時間 午前9時30分開店～午後3時閉店

【意義】

- ① ビジネス社会と連携した実際の・体験的学習の機会とする。
- ② 本校教育の成果を、地域社会・中学校・大学・企業に紹介する機会とする。
- ③ 全生徒・全教職員が取組み高度なコミュニケーション能力を育む機会とする。

【目標】

- ① 実際の学習から発生する課題を解決する能力を身に付ける。
- ② 他人に依存することなく、主体的に仕事を作り出す創造力を身に付ける。
- ③ 顧客志向・社会利益志向を意識したビジネス感覚を身に付ける。

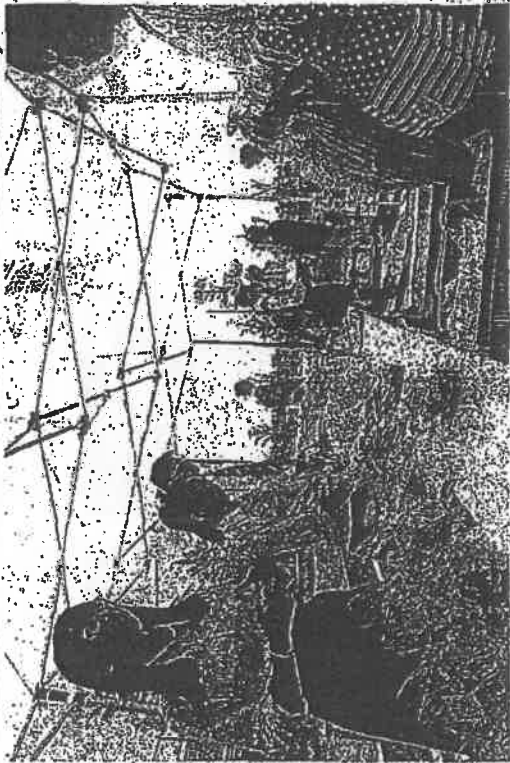


11月16日（土）、17日（日）の2日間にわたり、第33回販売学習京都すばるデパートを実施しました。天候に恵まれ、約6,000名を超えるお客様にお越しいただきました。日々の学習の成果を生かし、ご来店いただいたお客様を生徒一人一人が最高の笑顔でお迎えし、工夫を凝らしおもてなしの心を持った店舗運営を心掛けました。ご来店いただきましたお客様をはじめ、ご協力いただきました協力企業様、誠にありがとうございました。

育てた野菜 心込め販売

木津高生が毎週木曜日にマーケット

木津高（木津市）の生徒が、自分たちで育てた農作物を近くの城址公園駐車場で対面販売する「城山台 ABOマーケット」を毎週木曜日に開設している。商業や農業を学ぶ生徒たちが主体的に運営する青空市場で、地域住民と顔見合中、「生産者の顔が見えて安心で、敬意が感じられる」と好評だ。



買った野菜に自分たちが付けた野菜の説明をよむ生徒（木津市城山台、城址公園駐車場）

新鮮、お手ごろ価格好評

「ABO」は「アグリ・ビジネス・コミュニティ」の頭文字。「農のまろくろ」をコンセプトに城山台のコミュニティ開発が進められており、商業科「情報企画科」と農業科「システム園芸科」を併設する特徴を生かして連携しようと初めて企画した。テントを設けた店舗には、生徒が栽培したトマトやキュウリ、ネギなど季節の農作物がずらりと並び、包装袋には収穫日や栽培した生徒名のほか、農業を使った回数なども記されている。生徒たちは売り上げを集計・分析し、消費者の視点から次回何をどれだけ置くかを、努力しながら決めていく。訪れたのは一回見ただけの豊野世守さん（仮）は「新鮮でおいしく、値段もお手

ごろ。毎回来たい」と満足そうだった。情報企画科2年の岩田大海君（仮）は「思った以上に来てくれた。ただ売らなければなく、お客さんの質問などにも答えていきたい」と意気込む。5月下旬から週1回開設しており、夏休みは中断し2学期も開く予定。運営は午後2時から3時、毎月11日は午前11時10分から1時間開く。木津高 ☎0774(7)2031。 (三賢太郎)

山城版 27.6.9

京都府内
初の取り組み



農業系高校2校が グローバルGAP 認証取得に挑戦!

京都府内水産部農産課とグローバルGAP(正式名称: GLOBALGAP)認証取得の推進のために取り組んでくれる農業者様、米米の農業を担う人材を育てている農業系高校が縁に繋がった。そこで府内の農業系高校1校に可能性を打診した結果、本津高校と農業系高校が平成30年(2017)内のGAP認証取得に向けて取り組むことになった。

京都府立本津高校は、農業系でGAP認証を取得

京都府の GAPモデル農場として 取り組みを発表

平成30年(2017)京都府立本津高校と京都府立農業高校が、農業生産の国際的な基準であるGAP認証を取得した。農業系高校での取得は京都府内で初。生産農家に先駆けに取得したこともあり、新聞などでも大きく報道され、話題を呼んでいる。両校は、平成30年(2017)2月14日に府内の山城地域農業振興協議会が開いた研修会に招かれ、講演発表を行った。



京都府立本津高校(左)と農業系高校(右)の先生と生徒が研修会に参加している様子。

自らの取り組みが 評価につながる

本津高校の校長は、システム開発部長の御前田孝先生との協力を仰ぎ、「農業系高校の農産物は、餅や米など、いとも知られているかもしれませんが、それは単に伝統です。農産物の生産は人件費も高く、生産し販売するまでにはかなりの時間を要するものがあります。また、生産者もまた、天候や病気などによる生産量の減少や、生産コストの上昇など、様々なリスクに直面しています。GAP認証取得は経営改善につながると思います。」

京都府内のメンバーのなかから近藤隆彦さんとともに選ばれ、5月ごろから中心となってGAP認証取得に向けて準備を始めた。「研修文書にある200項目に及ぶチェック項目を長たときには、正直なところ抜け出したくなりました」と櫻井さん。「こんなことが要求されているのかを察するために、かなりの時間を費やしました。特に大切にされていると感じたのは、リスク管理という項目でした。リスク管理では、どんな危険が起こりうるのかを想定して、それに対する対策を定めて、手順書で示すことが求められます。手順書と指示書は、誰にでも伝わるように農場内に貼りました。」



京都府立本津高校(左)と農業系高校(右)の先生と生徒が研修会に参加している様子。



「今回の研修を通じて、公開発表は、公開発表とはちょっと違うところがある。茶の収穫時の様子や、加工用茶葉の加工の様子など、現場の様子を写真や動画を撮影して公開する。また、公開発表は、公開発表とはちょっと違うところがある。茶の収穫時の様子や、加工用茶葉の加工の様子など、現場の様子を写真や動画を撮影して公開する。」



「公開発表とは、公開発表とはちょっと違うところがある。茶の収穫時の様子や、加工用茶葉の加工の様子など、現場の様子を写真や動画を撮影して公開する。」

「公開発表とは、公開発表とはちょっと違うところがある。茶の収穫時の様子や、加工用茶葉の加工の様子など、現場の様子を写真や動画を撮影して公開する。」

「公開発表とは、公開発表とはちょっと違うところがある。茶の収穫時の様子や、加工用茶葉の加工の様子など、現場の様子を写真や動画を撮影して公開する。」

「公開発表とは、公開発表とはちょっと違うところがある。茶の収穫時の様子や、加工用茶葉の加工の様子など、現場の様子を写真や動画を撮影して公開する。」

「公開発表とは、公開発表とはちょっと違うところがある。茶の収穫時の様子や、加工用茶葉の加工の様子など、現場の様子を写真や動画を撮影して公開する。」

「公開発表とは、公開発表とはちょっと違うところがある。茶の収穫時の様子や、加工用茶葉の加工の様子など、現場の様子を写真や動画を撮影して公開する。」

GLOBALGAP logo and other certification information.

特色ある地域創生教育を目指して

新学科『地域創生科』2020年スタート

京都府立大江高等学校

地域創生に必要な精神・知識・スキルを育む新たな教科

Entrepreneurship

チャレンジ精神を育む

Friendship

友愛の精神を育む 望ましい市民性を育む

Citizenship

Volunteership

ボランティア精神を育む

教育の特色

- チャレンジ精神やふるさと愛の涵養
- 特色ある6つの系統によるスキルアップ
- 地域の課題解決の政策提言(主権者教育)
- フィールドワークによるアクティブラーニング
- 地域の賑わいイベントの企画・運営
- インターシッピングによるキャリア教育
- ボランティア活動の推奨
- 最新のICT教育 スマートスクール化
- 各種団体との協働型学習
- 地元大学との高大連携
- 特色ある施設設備
- 知[地]恵の輪ホール
映像スタジオ
プレゼンルーム 等

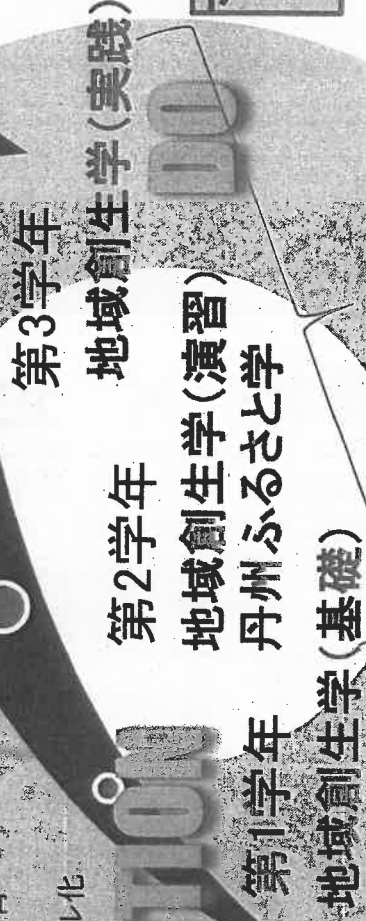
学校設定教科・科目

地域創生学

特色ある6つの系統

- 京都府北部で必要なスキルを学ぶ
- ◆ 公共マネジメント系統
- ◆ 生活福祉系統
- ◆ 経営情報系統
- ◆ 映像デザイン系統
- ◆ 国際交流系統
- ◆ 環境サイエンス系統

マインド×教養×スキル
→
地域創生教育



学校設定科目群

《サテライト教室を設置》

『知[地]恵の輪ホール』

地域交流・協働型学習の拠点

《地域協働学習の支援》

『知[地]恵の輪コンソーシアム』

地域の知恵を結集

《学校組織》

『学校・地域経営戦略室』

地域創生教育の推進機関

《サポーター事業》

『知[地]恵の輪センター』

ヒト・モノ・コト・情報のハブ機能

運営指導委員会

地域協働学習実施支援員

「未来の担い手」を育成するプログラムを始めます

平成31年4月25日

京都府教育委員会

京都府教育委員会では、今年度より、京都を中心に活躍している企業・大学と連携して、子ども達が社会に出たときに直面するような「答えのない問い」に長期的・継続的に取り組む「課題解決型学習(Project Based Learning)」を行う、「未来の担い手育成プログラム」を実施します。

<プログラムの趣旨・内容>

- ・教科の授業は大事、でもそれだけでは…
- ・社会の変化に対応できる学びが必要なのでは…
- ・学びって様々な活動で繋がりが深まっていくのでは…

<企業・大学>

企業・大学が直面しているリアルな課題の提示と、研究校に対する出前授業による課題解決に向けたサポート

中学校 × 企業・大学

- ・府内5校を、3年間の学びを見据えた「未来の担い手育成プログラム研究校」として指定
- ・長期的・継続的に企業・大学からの課題に取り組む「きょうと明日へのチャレンジコンテスト」開催

<中学校>

企業・大学が提示する「答えのない問い」を解決できるような力を付けさせるための、課題解決型学習を通じた継続的・持続的な授業改善

- ・認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ
- ・将来に渡って学び続ける力を養う
- ・3年間を見通して子ども達の力を伸ばす

<研究校、連携企業・大学及び課題>

研究校	連携企業・大学	課題
京丹後市立弥栄中学校	株式会社 丹後王国	丹後地方の特徴を生かした地域活性化策も含めて、多くの人を訪れるための方法とは
綾部市立東綾中学校	グンゼ株式会社	10年後の時代に合った「こちよい」インナーウェアを創造してください
京丹波町立瑞穂中学校	株式会社 美濃吉	新しい和食の在り方を創造して、和食文化を広めてください
向日市立寺戸中学校	国立大学法人京都大学 iPS細胞研究所	誰もが安心してiPS細胞を用いた治療を受けられるようになるためには、どのようなことが必要でしょう
宇治市立黄檗中学校	株式会社 祇園辻利	世界中に日本茶を普及させるにはどうすればよいでしょう

担当 学校教育課指導第一担当

電話 075-414-5833